

# 第8回留学報告書

2022年7月

山口光史郎

University of Washington, Aeronautics & Astronautics

ワシントン大学航空宇宙工学科博士課程の山口光史郎です。この報告書では、2021年冬の報告書から今までについての報告をさせていただきます。

## 1. 研究関連

2022年6月にPh.D. General Exam (Ph.D. Proposal Exam)に合格しました。この試験の合格により、現時点から1年～2年の間にはDefenseを行うことが期待されています。大学院生活の残り時間もだんだん少なくなってきましたが、集中して研究を進めていきたいと思います。博士論文は、折り紙構造を用いたメカニカルメタマテリアルの解析、設計、利用について議論する予定です。

2022年3月には久しぶりに対面開催での学会に参加しました [1]。規模は以前参加した時より小さくなっていましたが、今後米国外からの参加者も戻ってくることを祈っています。この発表の内容をベースに現在論文を執筆中です。次の報告書の時期までには投稿したことを報告したいです。

1. **K. Yamaguchi, J. Yang, "Analysis of origami-based mechanical metamaterials via extended three dimensional Ashby chart", *SPIE Smart Structures + Nondestructive Evaluation*, Long Beach, CA, Mar. 2022.**

## 2. TA

2021年秋学期に続き、2022年冬学期も複合材料に関する授業のTAを行いました。今回は社会人修士課程大学院生に向けての授業でした。オンライン授業対応など結構大変でしたが受講者からの最終的な評価はかなり高かったなのでその点は嬉しかったです。

## 3. インターンシップ

2022年夏学期はHonda Aircraft Companyにてインターンシップを行うことにしました。この夏はノースカロライナ州グリーンズボロにて過ごします。今後の進路を考えるにあたり、企業で働いた経験がなかったので一度その環境を体験してみたいと思ったのが主な理由です。応募や選考にあたっては大学院留学の先輩方に大変お世話になり、感謝しております。まだインターン開始後1週間しか経過していませんが今のところ非常に刺激的な経験です。インターンの感想についてはまた次の機会に述べたいと思います。

## 4. おわりに

学会や授業、試験も対面での開催に続々と戻りつつあり、再び活発に議論や研究ができる環境になり実りのある日々を送っております。船井情報科学振興財団の皆様からのご支援に感謝します。